

# 平成13年度 施策別 取組方向

部局名：教育委員会

施策番号	施策名		
133	スポーツの振興		
<p>【2010年度の目標】            住民は、それぞれの好みや年齢に応じて、いろいろな施設で自分にあったスポーツ、レクリエーション活動に気軽に参加できるようになっています。このことは、スポーツのすそ野の拡大にもつながり、競技力も向上しています。            すべての住民が、年齢や体力に応じて、身近なところでスポーツに親しんでおり、それぞれの地域が総合型スポーツクラブを運営し、支えています。</p>			
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
総合型地域スポーツクラブを設置している市町村数	0	0	6市町村 (26市町村)
地域スポーツクラブ延加入人員数	約 15万人	139,653人	約16万人 (20万人)
住民一人あたりの休日におけるスポーツ時間	26分	-	31分 (40分)

## 1 平成11年度の取組み

### (1) 平成11年度の取組み概要とその成果

県内の地域スポーツクラブ数は、約 5,900 団体（前年度比約 1,200 団体）延加入人員は、約 14 万人（前年度比約 1.3 万人）と、近年の経済不況・少子化等により減少しつつある。

こうしたことから、県民がスポーツに親しむ場としての、総合型地域スポーツクラブの設立を強力に推進する必要があると、スポーツコミュニティモデル事業を6市町で実施した。

県民体育大会・県スポレク祭を統合し、新しく「みえスポーツフェスティバル」を開催した結果、前年より6千人多い2万3千人の県民の参加を得た。

競技力向上特別対策事業により、選手の競技力強化を図った結果、国体の総合成績が前年の42位から29位に向上した。

### (2) 平成11年度の取組みに対する問題点

総合型地域スポーツクラブ設立推進のため、各市町村に対する助言、情報提供等の強化を図るとともに、活動拠点施設として学校体育施設の開放を促進する必要がある。

競技力向上対策のため、トップレベルの競技者を組織的、計画的に育成する一貫指導の体制づくりを図る必要がある。

## 2 平成12年度の取り組みと成果見込み

県立学校体育施設開放の推進を進め、すべての学校で利用できるようにする。

総合型地域スポーツクラブ設立推進を各市町村に働きかけ、12年4月に県内で初めて明和町に設置された。同町につづくクラブの設立をめざす。

競技力向上特別対策事業（最終年度）の目標である国体の総合成績を、20位台前半とする。

## 3 平成13年度以降に向けての取組方向

県民の生涯スポーツの場の提供やスポーツ人口の拡大を図ることとともに、平成14年度から完全学校週5日制が実施される中で、生徒が余暇時間の有効活用を図る場として総合型地域スポーツクラブの育成を図る。

総合型地域スポーツクラブには、県民が日常的にスポーツを行う場、県民の健康保持増進を図る場、地域住民の交流の場として期待されるとともに青少年の健全育成に大きな成果があり、地域社会・スポーツ団体と学校が連携してその育成を重点施策として推進し、2010年度には県内26市町村に設置する。

また、競技人口のすそ野拡大と国際大会等でも活躍できる選手の育成のため、ジュニア層からの一貫指導体制づくり、不足している指導者の養成など、競技力向上施策の推進を図る。

今後、総合型地域スポーツクラブ育成の基本構想をまとめ、各市町村におけるクラブの育成を図っていく。